

さこ かずなり
 合同会社アレコレ 代表 迫 一成 氏

上古町商店街を拠点にデザインを通して地域の大切なものを発信



PROFILE

1978年生まれ、福岡県出身。新潟大学在学中に絵本づくりやデザインに興味を持ち、卒業後の2001年hickory03travelersを結成。古町への出店を機に商店街の活性化活動に取り組み、2006年上古町商店街振興組合の理事に就任する。2012年合同会社アレコレを設立。2014年中小企業庁が「がんばる中小企業・小規模事業者・商店街表彰」を受賞。現在、上古町商店街振興組合副理事長、新潟アートディレクターズクラブ会長を務める。

かみふるまち

上古町商店街で新潟の土産品や雑貨、自社商品などを販売するhickory03travelers（ヒッコリースリートラベラーズ）。デザインやさまざまな活動を通して新潟の魅力を発信する合同会社アレコレの迫代表に、地域への思いや商品づくりなどについて伺いました。



合同会社アレコレ

〒951-8063
 新潟市中央区古町通3番町556
 TEL 025-228-5739
<http://www.h03tr.com/>

hickory03travelers

営業時間：11:00～18:00
 定休日：月曜日（祝日の場合は営業、翌日
 火曜日が定休）

「浮き星」のように背景のある商材が新潟にはたくさんあります。

そのモノづくりに関わることができるのも嬉しいです



「浮き星」はもち米（あられ）に砂糖蜜をかけた素朴なお菓子。かわい
い形やカラフルな色合い、パッケージデザインが人気となり、お土産品
として県外客に好評だ。販売数が急増したことで、製造元に念願だっ
た後継者も生まれた

チャレンジショップからスタートし 古町に路面店を開店

店舗運営をはじめデザイン・制作、商品開発などを手掛ける（同）アレコレの迫代表は、2001年に仲間2人とともにhickory03travelersを結成。新潟商工会議所が新規開業者を支援するチャレンジショップに出店し、オリジナルTシャツの製造販売を始める。「そこで1年半経験を積んで古町3番町に出店しました。当時この辺は人通りも少なかったので他の場所を勧められましたが、のんびりした雰囲気が気に入って。商工会議所さんには出店の相談以外にも経理や経営のことを教えていただいたり、メディアの方を紹介していただいたりしてありがたかったです」。

商店街の活性化に貢献。 新潟の特産品に光を当てる

この出店をきっかけに商店街のマップやロゴの作成、街づくりの勉強会に参加し、商店街活動に積極的に取り組んだ。2006年には上古町商店街振興組合の設立により少しずつ新しい店も増え、注目されるエリアとなっていく。こうした活動を通して「それまでは表現することに興味がありましたが、古いものが面白いというか、そこに若いアイデアを取り入れることの大切さに気付くようになりました」と迫代表。そして2010年の店舗移転を機に、オリジナルデザインの要素を取り入れた新潟の土産品に力を入れるようになる。

その代表ともいえるのが、新潟の伝統菓子「ゆかり」をプロデュースした「浮き星」だ。ゆかりの製

造元に後継者がいないことを知った迫代表は、商品が売れば後継者ができると考え、パッケージデザインや名称の一新、さらに流通まで手掛けることを提案。2015年に展示会で発表すると全国での販売が決まり、hickory03travelersでかつて年間1000個ほどだった販売数が、今では10万個の人気商品に成長した。

日常を楽しいものにする商品づくり、 活動をしたい

「日常を楽しむ」という創業からのコンセプトを大切にしたいという迫代表。さらに「ブランディングは大事ですが、最初だけ整えて、その後のケアをしていないために“ダメだったこと”になっている商品がたくさんあります。もう少し整え直せば売れるようになるので、そういう“デザインの続き”をしていきたいですね」と抱負を語る。

「身の回りにある新潟のいいものを、新しい形にして外に発信することでお役に立ちたい。店を続けていけるのも周りの雰囲気があってのことなので、“行きたい街”と思ってもらえるようにサポートしていきたいと思います」。これからも地域と人とのつながりを大切にしながら、デザインを軸にしたモノやコトを生み出していく。



元酒屋の味のある空間を利用した店舗には「新潟のいいもの」が販売されている